

特別シリーズ③

to the future...

磐田の未来へ

未来に向かって

交通拠点の整備・安全安心の確保

磐田市の未来へ向けたまちづくりをシリーズを通して紹介します。第3弾は「生活」。住みやすい、暮らしやすい磐田市を目指し、長期間にわたり進めている「新駅の設置」や「海岸防潮堤の整備」、「スマートIC設置」、「道路区画線補修」の4事業について紹介します。

新駅「御厨駅」設置事業



御厨駅上空から (2019年2月14日撮影)

(AR動画の利用方法は33ページ参照)



JR 東海提供



都市整備課
平野 尚洋

駅名が「御厨駅」に決定

JR東海道本線の磐田駅と袋井駅の間に設置される新駅の名称が、2月6日(木)の東海旅客鉄道株式会社(JR東海)の発表で「御厨駅」に決まりました。

2020年春の開業へ

新駅の駅舎は、JR東海道本線と東海道新幹線をまたぐ自由通路を併設して建設しています。上下線2つのホームや5

北口イメージ



南口イメージ



 ドローンで上空から撮影した動画をご覧ください。

地域の方に インタビュー～

市と自治会・地元企業・土地区画整理組合・学生などが集まり、新駅周辺の活性化について話し合うワークショップに参加した

御厨地区長 **新貝 雅海** さん



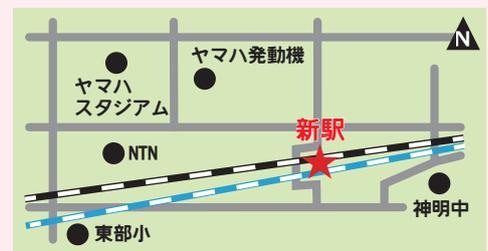
新駅の名称が「御厨駅」に決まりましたね。

御厨駅という名称は、ワークショップの中で「希望する名称」として挙がった意見の1つでしたので、採用されてうれしかったです。御厨という名称は新駅ができる東部地域をはじめ、古くから親しまれており、とても良かったと思います。

新駅開業をきっかけにどのようなまちになってほしいですか？

会社に通勤したり、スタジアムでスポーツ観戦したりする人が数多く乗降し、活気があふれる駅になってほしいです。また駅の利用をきっかけに、もともとある歴史や自然を楽しむ人も増えてくれるとよいと思います。

また利便性が増し、駅周辺に住む方が多くなることで、スーパーマーケットやコンビニ、飲食店、病院などが増え、より住みやすく、にぎわいのあるまちになったらうれしいです。



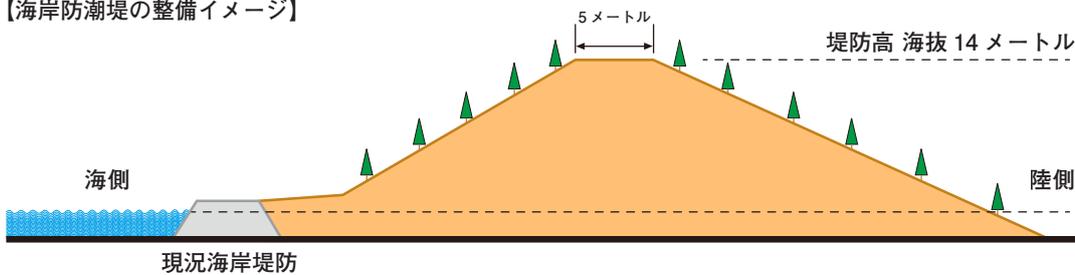
基のエレベーターを設け、北口・南口の前には送迎用のロータリーを兼ねた広場や駐輪場などを整備する予定です。
現在の進捗状況は、駅舎・自由通路の外壁工事や、ホーム築造工事などを行っています。今後は駅舎の内装や設備などの工事、駅へのアクセス道路の整備工事を行っていきます。
引き続き、近隣にお住まいの方などにはご迷惑をお掛けしますがご協力をお願いします。

海岸防潮堤の整備事業



海岸防災林工区（福田地内）（2019年2月21日撮影）

【海岸防潮堤の整備イメージ】



スマートIC設置事業（都市整備課）

インターチェンジ

新東名高速道路に連結する（仮称）新磐田スマートIC設置工事を昨年7月から着手し、2020年の供用開始を目指しています。

このスマートICの特徴は、ラウンドアバウト（環状交差点）型の料金所と交差点を導入した全国的にも例のない本線直結型のICです。

現在、新東名高速道路の北側で市道の付け替えや高架橋下に調整池を造る工事を進めています。



▶完成イメージ図（暫定形）



▶現在の工事状況（敷地内）
（2019年1月11日撮影）

海岸線延長 約11km



■■■ 昨年度までに完成している場所 (907メートル)

■■■ 本年度に完成または2019年3月までに完成を予定している場所 (1,002メートル)

市民の皆さんのご理解をいただきながら、1年でも早い防潮堤の完成を目指し県と協力して整備を進めていきます。

防潮堤の完成を待たずに、防潮堤の機能を果たすための整備を進めていきます。

2014年度から沿岸部で防潮堤を整備しています。静岡県第4次地震被害想定で、市内の最大津波高12メートルに、せり上がり2メートルを考慮した海拔14メートルの高さの防潮堤を県と連携して整備を進めています。

昨年度までに太田川右岸などの工区で907メートルが完成しました。本年度は、3月末までに海岸防災林工区、竜洋海洋公園工区のうち、1002メートルが完成する予定です。



危機管理課

戸田 智浩

道路区画線補修事業 (道路河川課)

2017年度から道路区画線(センターラインや外側線など)の集中的な補修をスタートしました。

現在、幹線道路や通学路などを優先して順次補修を進めています。計画では補修が完了するまで5年程度かかる見込みです。2年目となる本年度は、向笠竹之内地内、松之木島地内など20路線の整備工事や部分的修繕による補修を実施しました。今後も区画線の補修などを中心に、安全・安心で快適な道路環境を維持していきます。



▲道路区画線を補修する様子

「住んで良かった」「住み続けたいまち」を目指して

住みやすいまちを考える上で、「利便性」と「安全性」は欠かせない指標です。今後もより便利で、安全・安心に暮らすことができるまちの実現を目指し、磐田市の未来が笑顔あふれるまちになるように、引き続き整備を進めていきます。